言語療法とは

言語療法とは、言語聴覚機能（ことばや聞こえの障害）やコミュニケーション能力の障害、摂食・嚥下の障害、認知症や記憶障害などの高次脳機能障害を持つ方に、それらの機能の改善や能力の拡大を図る為に、検査・評価、訓練・指導を行います。訓練で目指すのは、日常生活の中で“実際に使える、行える機能の獲得”であり、代償方法の習得・環境整備・心理的サポートなどにも対処します。

主に脳血管障害に因ることが多いのですが、関節リウマチでは、関節の変形等に伴う筋力の低下から、構音や飲み込みの問題が発現される場合もあります。安全で安定した経口摂取の維持を図る為に、多職種による包括的なプログラムを融合して、ご支援をさせていただきます。